

パターン  
**3**

# 農業体験やJA祭りなどのさまざまなイベントに参加してもらおう

JAを積極的に利用し、さまざまなイベントなどに参加してもらったため、農作業を体験してもらうことは非常に重要で

す。特に子どもたちの食農教育活動は、子どもを通じて保護者のJA・農業理解につなげることが期待できます。

JA倉敷かきや  
NEWS TOPIC  
2018年3月号

地元小学校3年生が「運島こぼう」の抜き取り体験を特集しました。楽しそうな笑顔があふれています。

JA倉敷かきや  
NEWS TOPIC  
2018年3月号

### 1 連島こぼう抜き取り体験 地元小学生が地域の農業に触れました

倉敷市立地元小学校3年生は、地元の小学校3年生と連携して「運島こぼう」の抜き取り体験を行いました。この取り組みは、地域の農業を体験し、食の大切さを学ぶことを目的としています。今年度は、倉敷市立地元小学校の52名の児童、倉敷市立第五小学校の41名の児童、倉敷市立津島小学校の45名の児童が参加しました。この取り組みは、地域の農業を体験し、食の大切さを学ぶことを目的としています。今年度は、倉敷市立地元小学校の52名の児童、倉敷市立第五小学校の41名の児童、倉敷市立津島小学校の45名の児童が参加しました。

JAいなば「いなば」  
2018年2月号

2017年度のアグリスクールの総集編です。開校式から閉校式までを追い、保護者の声も載せ、JA・農業理解に大きな役割を果たしています。

### 特集 ガンバル! あぐりんキッズたち 平成29年度

第3回目 ハトムギと大豆についての学習とおはぎ作りに挑戦!

JAいなば アグリスクール

第4回目 親子でみそ作りに挑戦!・開校式

JAいなば アグリスクール

アグリスクールに参加された保護者の皆さんからの感想

- 農作業の楽しさだけでなく、食の大切さも学べた。
- みそ作り、おにぎり作り、ピザ作りが楽しかった。
- 毎週いろいろな事を教えて頂き、「そうなんだ。」と初めて知ることが多く親子で楽しく参加させてきました。
- 子供が料理に興味を持ち始めました。
- 小学校では経験できない活動が出来ました。
- 参加する前は土に触ることを嫌がっていたのですが、今回いろいろ体験を通して農業や食の大切さについて少しずつ関心を持つようになりました。
- 農地工場に行った後から、美味しい醤油を使ったがらふりになり、添加物入りの醤油を「マズイ...」と言うようになりました。

平成30年度もアグリスクール開校します!

### JAいなば アグリスクール 総集編

JAいなばでは平成29年度もアグリスクールを開催し、様々な活動を通して子供達に「食」と「農」のつながりや食の大切さを伝えていきました。6月から12月まで計4回の活動では、野菜の定植やブルーベリーの収穫体験を行いました。今回は、開校式から閉校式までの総集編として、保護者の声も載せてご紹介いたします。

第1回目 開校式・野菜の定植と牛乳パックを使ったお味噌汁作りに挑戦!

JAいなば アグリスクール

第2回目 ブルーベリーの収穫とジャム作りに挑戦!

JAいなば アグリスクール

アグリスクールに参加された保護者の皆さんからの感想